

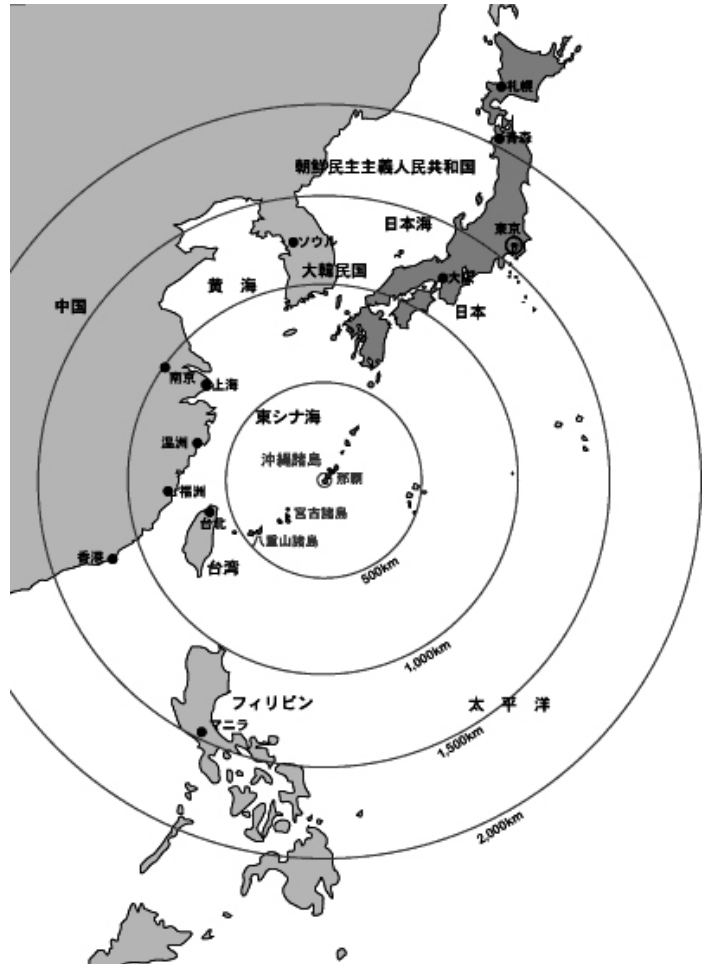
沖縄研究第1回

5月6月の3回で沖縄の基礎知識を学習します。今回は、地理、歴史、自然です。

<地理>

(1) 右の図をみながら下の空欄を埋めよう。

- 那覇と上海 約 (8 2 3) km
- 那覇と台北 約 (6 2 8) km
- 那覇と香港 約 (1 4 4 2) km
- 那覇とソウル 約 (1 2 6 3) km
- 那覇と大阪 約 (1 2 0 4) km
- 那覇と東京 約 (1 5 5 6) km
- 那覇と札幌 約 (2 2 4 7) km
- 那覇とマニラ 約 (1 4 7 1) km



上記を参考に、上海・台北・香港・ソウル・東京・札幌・大阪・マニラを那覇から近い順に並べてみよう。

那覇→台北→上海→大阪→ソウル→
香港→マニラ→東京→札幌

(2) 下の空欄を埋めよう。P6、P40

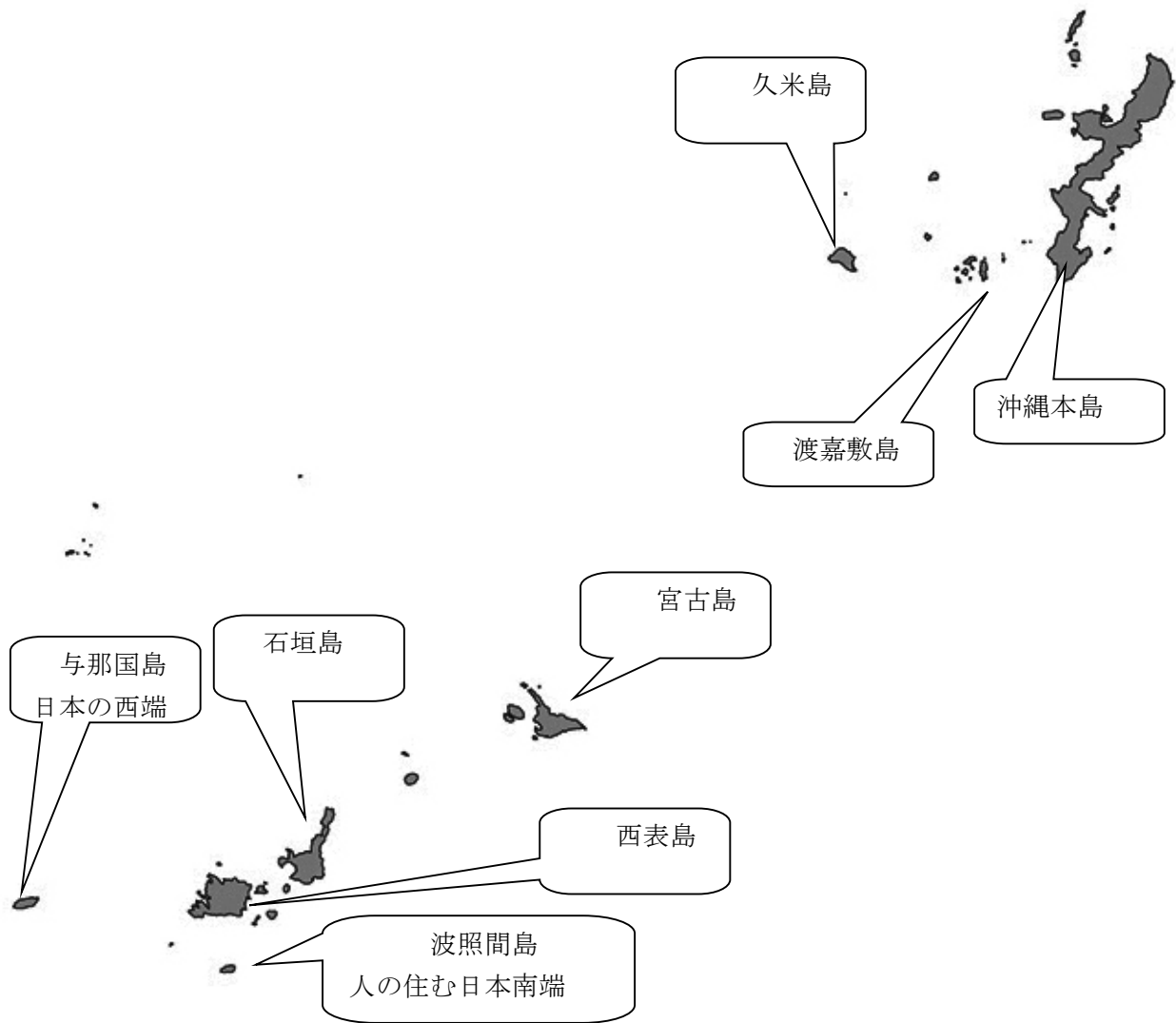
沖縄本島は延長 (1 1 0) km、
幅 3 0 km の細長い島で、面積は

(1 2 0 0) 平方km 日本最大の島である。もっとも高い山は (与那覇岳) (標高 498m)
で、(亜熱) 帯の気候である。年間の平均気温は (2 2 . 3) 度、年間平均の降水量は
(2 1 1 8) mmで、(6) 月頃に降雨が多い。

(3) 渡嘉敷島も確認しておきましょう。

渡嘉敷島は沖縄戦で多くの集団自決のあった島です。そのことはまた次回に学習しましょう。





(4) 上の沖縄の白地図を完成させよう。P4、P5

<生物> P117、P9

沖縄の生き物をしらべてみよう。まずハブをしらべてみよう。

ハブ 毒ヘビとして有名で、全長(160)cmほど。奄美諸島、沖縄諸島に分布。人家周辺から山地森林まで生息。また地上だけでなく樹上にもよく登る。主に(ネズミ・カエル)などを捕食。ハブの間にはハブ、(ヒメハブ)、(サキシマハブ)、(トカラハブ)などがある。

琉球諸島でもハブの生息する島は(沖縄本)島、(伊江)島、(伊平屋)島などでハブのいない島もある。その理由は(海面下に沈んだ島はハブが絶滅したから)だといわれている。

※次の例を参考に沖縄の生物を他にもとりあげて、その特徴をまとめてみよう。さくいんで検索
 デイゴ/マングローブ/イリオモテヤマネコ/ノグチゲラ/ヤンバルクイナ
 ヤンバルテガコガネ/ヨナグニサン/チョウチョウウオ/ヤシガニ/星の砂

選んだもの1→()

特徴:

日本（本土）と沖縄の歴史

年号	日本（本土）	年号	沖縄		
593	聖徳太子 摂政となる		各地の豪族などの抗争が続いていた		
710	平城京に遷都（奈良時代）				
794	平安京に遷都（平安時代）				
1192	源頼朝が鎌倉幕府を開く（鎌倉時代）				
1338	足利尊氏が室町幕府を開く（室町時代）				
1467	応仁の乱（戦国時代）	1404	明との冊封関係（明の支配下で貿易を行うこと）始まる		
		1429	尚巴志（しょうはし）が三山（沖縄本島全体）を統一。中国との貿易が盛んに行われる		
		1458	護佐丸（ごさまる）・阿麻和利（あまわり）の乱		
		1470	金丸が王位につき、第二尚氏となる（第二尚氏は明治の琉球処分まで王統を保つ）		
		1477	尚真が3代目の王となり、琉球の黄金時代を築く		
		1591	秀吉、島津氏を介して琉球に兵糧米を命じる（朝鮮との戦いのため）		
		1609	江戸幕府の許可に従い、島津が琉球を侵攻する。琉球はあつけなく敗北、尚寧王と重臣は捕虜として薩摩に連行される。以後島津氏が琉球を支配、薩摩藩の監視のもとでの中国貿易が続く（鎖国下でも長崎以外でも琉球は中国貿易を行っていた）		
		1647	黒糖、ウコンを専売とする		
		1853	ペリー（アメリカ）が日本へ来る（7月）	1853	ペリーが琉球に来る（5月、その後浦賀へ）
		1543	鉄砲が伝わる		
1586	豊臣秀吉が太政大臣となる				
1592	秀吉が朝鮮をせめる（1597も）				
1600	関ヶ原の戦い				
1603	徳川家康が江戸幕府を開く（江戸時代）				
1635	鎖国の開始				

年号	日本（本土）	年号	沖縄
1867	大政奉還		
1868	明治維新		
		1871	明治政府が沖縄の宮古・八重山を中国（清）と通商関係の取引の引き換えとして提示
		1872	琉球藩の設置、尚泰を藩王とする
1875	廃藩置県	1879	明治政府は軍隊をもって琉球藩を廃し、沖縄県設置をする。尚泰は華族となり東京へ（琉球王国の消滅）
		1892	（沖縄だけに課せられていた）人頭税の廃止運動が起こる
1894（-	日清戦争	1903	人頭税廃止
1904（-05）	日露戦争	1904	1910にかけて多くの県民が移民（ハワイ、南米、フィリピンなど）
1931	満州事変		
1937	支那事変		
1941	太平洋戦争の開始	1940	方言を撲滅し皇民化教育がきびしくすすめられる
		1944	第32軍創設。集団疎開開始。那覇市内大空襲を受ける
1945	東京空襲。沖縄戦。原爆。ソ連参戦。敗戦。アメリカによる占領	1945	米軍沖縄上陸。米軍の支配下となる。
1951	サンフランシスコ平和条約	1952	琉球政府発足（米軍支配下）
		1953	米軍による強制土地収用がおこなわれる（基地をさらにつくるため）
		1956	島ぐるみ闘争がはじまる
		1959	米軍機小学校に墜落、死者負傷者多数
		1970	米兵の主婦轢殺事件に無罪判決
1972	沖縄返還	1972	沖縄返還
		1975	海洋博
		1978	左側通行になる

沖縄研究第2回

今回は、沖縄戦と基地問題を考えてみましょう。

<沖縄戦について>

<沖縄戦の犠牲者数(いろいろな数があるがこれが公式に厚生省の公認した数)>

※ まず犠牲者数のまとめをしてみましょう

総数	200656
米軍側	12520
日本側	
本土出身軍人軍属	65908
沖縄県出身軍人軍属	28228
戦闘参加者	55724
一般住民	38276

当時の県民の1/4という大変な数の住民が犠牲になった。米軍の(12520)人という犠牲者数も、他の激戦地といわれるガダルカナル島 1,598人、レイテ島 3,500人と比べると大変多い。米軍の戦死者数だけからも、沖縄戦は太平洋戦争で最大の戦闘だったことがわかる。

波照間島では強制移住によるマラリアで住民の(30)%が病死。それ以外でも病死・餓死などによる犠牲者を含めると一般住民の犠牲者は15万人に増える。また、朝鮮人の戦没者約1万人は含まれていない。

<戦闘協力者とはなにか>

上記の中で「戦闘参加者」という言葉が、何をさしているのかわかりにくい。戦闘参加者とは軍人や軍属ではないのだろうか? 「戦没者遺族等援護法」という法律が1952年に制定されたが、一般に本土では空襲で死亡した市民などには、まったく何も保障はされていない。沖縄は直接の戦地であり犠牲も多いということで、この法律を広く運用して「非戦闘員でも、軍に協力したこと」が申請され証明されれば保障されることになった。「軍に協力」というのは、「陣地の構築」などだけでなく、「食料の供出(軍に食料をとられたも)」、「壕の提供(軍に壕から追い出されたなども)」、「集団自決」なども含まれており、きわめて幅の広いものとなっている。したがって戦闘参加者には幼児も含まれている。また申請によって「一般住民」から「戦闘参加者」へ人数が少しずつ動いている。

<沖縄戦は成功 軍隊の論理>

「ああすれば良かったという点はあるが、作戦全般としては沖縄作戦は成功だったと思う」(防衛庁戦史室編『沖縄方面陸軍作戦』)「まず、侵入者に硫黄島や沖縄のような犠牲者を予想させる位の善戦をする能力を持つことが理想です」(文芸春秋『戦略的思考とは何か』)

これが軍隊の論理。作戦の目的(少しでも長く戦争を続けること。敵の犠牲者を増やすこと)にそったということでは沖縄戦は大成功。多くの住民の犠牲がでたことは「軍隊としての作戦が成功したかどうか」では問題にならないことなのである。

<現地自給と違法な動員>

沖縄は本土防衛の捨て石作戦だったため、兵力も装備も不十分だった。そのために現地で多くの兵員が募集された。これが「防衛隊」。防衛隊は本来は（ 13 ）才以上（ 45 ）才までの男子が召集されるものだったが、実際には 15 才の少年から 50 以上の老人までが動員された。

また、中学校・女学校の生徒も動員された。もともと 17 才未満の青少年の戦争参加は当時としても違法だったが、結局男子 1700 名、女子 550 名が従軍した。（学徒隊）こうした防衛隊の 6 割、学徒隊の 5 割が戦死した。

<渡嘉敷島と集団自決>

渡嘉敷島では他の島や地区にくらべても数多くの集団自決がありました。それはなぜだったのでしょうか？（「沖縄修学旅行」の沖縄戦の記述 p24 を参照）

<体験談の感想>

※別紙の体験談を読んで感想を書いてみてください

資料 沖縄戦体験談 ガラビヌヌマチガマより衛生兵の証言 血であがなったもの 写真

<基地について>

※別紙資料を読んでそれぞれの考えを書いてみてください。

資料 基地について 1995 年総決起集会での高校生代表のあいさつ

沖縄研究第3回

最終回は文化を勉強してみましょう。

<シーサー> (p 69)

沖縄の家の屋根や門などに多数みられる魔除けの(唐獅子)。(中国)や南方諸国の焼き物の影響を大きく受けついでおり、色彩に特徴がある。ア・ウン(口の空いているものと閉じているもの)の2匹のセットが基本。みやげ物屋ではいろいろなものを売っている。

<石敢當 いしがんとう> (p 75)

中国から伝わったもので、T字路や(路地)の突き当たりなどの壁に埋め込まれている。魔物は(角)を曲がるのが苦手とされていて、魔物がT字路などに止まってしまうのを避けるために置かれている。

<沖縄の食べ物>

ここでちょっと脱線して沖縄の食べ物を調べてみましょう。

※沖縄すば (ソバ→スバ) (p 36)

ソバはスバになります。沖縄スバには、そば粉はまったく使われておらず(小麦)粉だけでできています。そば粉を30%以上使用していないものは「そば」とは認められないという理由で沖縄が本土復帰後、呼び名が一時禁止されましたが、数年間に渡って運動を続けた結果、昭和53年公正取引協議会から正式に「沖縄そば」の呼び名の認定を受けた歴史があります。豚肉のかたまりの乗っている(ソーキ)そばが代表的。

※サターアングギー (p 59)

砂糖→サター 油揚げ→アングギー 小麦粉に(黒砂糖)で味をつけたドーナツのような菓子

<沖縄のことわざ>

沖縄のことわざのことを「くがにくとぅば(黄金言葉)」とか「むかしくとぅば(昔言葉)」と言います。

いちゃり ちよーてー
・行逢ば 兄弟 (であったときから皆兄弟)

とー いーび いぬたき
・十ぬ指や 同丈や ねーらん (指の長さは全部違う。→人はそれぞれ考えや意見はことなるのだから、他人の意見も尊重すべきだ。また、ひとりひとりを大切にしよう。)

<ウチナーグチの原則>

沖縄方言のウチナーグチを少しでも勉強してみましょう。以下の原則がわかっているだけで、かなり楽しく言葉がわかります。

- ① ウチナーグチの母音は原則として、アイウの3つ。アイウエオはアイウイウになります。
たとえば、夜 (yoru) は yuru つまりユルになります。星 (hoshi) はフシですね。
- ② アイ→エー アウ→オーに変化します。
たとえば、前 (mae) は mee メー
竿 (sao) は soo ソー になるわけです。
- ③ i の前などで子音が変化する。
k→ch g→j t→ch d→j など たとえば
時 (toki) →tuchi トウチ
釘 (kugi) →kuji クジ
下 (shita) →shicha シチャ
- ④ ヌ は 共通語の「の」になります。
たとえば BEGIN の「島人(しまんちゅ)ぬ宝」は 「沖縄の人たちの宝物」の意味です。

練習問題

- (1) 母音に注意して次の語を沖縄語に直しなさい
いろ (色) (iru イル) はこ (箱) (haku ハク)
ク)
おや (親) (uya ウヤ) よめ (嫁) (yumi ユミ)
ミ)
こめ (米) (kumi クミ) そで (袖) (sudi スディ)
- (2) 母音に注意して次の語を沖縄語に直しなさい
たいがい (大概) (テーゲー) まいねん (毎年) (メーニン)
- (3) 子音に注意して、次の語を沖縄語に直しなさい
たんき (短気) (tanchi タンチ) きも (肝) (chimu チム)
いとこ (従兄弟) (ichuku イチュク)

<現在のウチナーグチ (ウチナーヤマトグチ) >

今の沖縄の高校生などが使っている言葉は、ウチナーヤマトグチといいます。別紙資料をみて、興味をもった言葉を書き出してみましょう。